

別紙 1

1 営農類型ごとの経営規模及び生産方式の指標

ここに掲げた営農類型や経営規模はあくまでも例示であり、これ以外にも農業経営者の創意と工夫により、多様な経営体が確立されることが望ましい。

〔組織経営体〕

営農類型	経営規模	生産方式
<p>水稻《大規模低コスト型》</p> <p>〈専門的従事者 4人〉</p>	<p>〈作付面積〉 水 稻 = 15.0 ha</p> <p>〈経営面積〉 15.0ha (自作地 10.0ha) (小作地 5.0ha)</p> <p>〈作業受託〉 育苗 10.0ha 田植 7.0ha 刈取 10.0ha 乾燥・調製 6.0ha</p>	<p>〈主な資本装備〉 育苗用関連機械 一式 トラクター(55ps) 1台 田植機 2台 コンバイン(自脱型5条) 1台 コンバイン(自脱型3条) 1台 ハウス(パイプ) 1,800 m<sup>2</sup></p> <p>〈ポイント〉 ① 集落での合意により、連担地形成に努め、農業機械の効率的利用を図るとともに、作業能率を高める。 ② 水稻は、直播きを取り入れ、省力化を図る。</p>
<p>水稻高収益型 〔(有機栽培+普通栽培)+啓翁桜+繁殖牛〕 〈専門的従事者 3人〉</p>	<p>〈作付面積等〉 水 稻 = 10.0 ha (うち、2.0haには有機米を作付する。) 桜 = 0.6ha 繁殖牛 = 3 頭 飼料作物 = 0.4 ha</p> <p>〈経営面積〉 11.0ha (自作地 4.0 ha) (小作地 7.0 ha)</p>	<p>〈主な資本装備〉 育苗用関連機械 一式 田植機 1台 トラクター(35ps) 1台 コンバイン(自脱型4条) 1台 ハウス(パイプ) 800 m<sup>2</sup> 促成室 1棟 畜舎 1棟</p> <p>〈ポイント〉 ① 集落での合意により、連担地形成に努め、農業機械の効率的利用を図る ② 水稻の乾燥調製作業は一部共同乾燥施設を利用する。 ③ 水稻の省力化により、冬期には啓翁桜、周年に繁殖牛を取り入れた複合経営とする。 ④ 品種の組み合わせ等により、作業期間の延長を考慮する。 ⑤ 啓翁桜は、促成室を設置し、計画的に活用する。</p>

## 〔個別経営体〕

営 農 類 型	経 営 規 模	生 産 方 式
水稻省力型 〔（直播き＋普通栽培）＋トマト〕 〈専業的従事者 2人〉	〈作付面積〉 水稻(直播) = 3.0 ha 水稻(普通) = 5.0 ha トマト = 0.1 ha  〈経営面積〉 8.1 ha (自作地 5.1 ha) (小作地 3.0 ha)	〈主な資本装備〉  育苗用関連機械 一式 田植機 1台 トラクター(32ps) 1台 コンバイン(自脱型4条) 1台 ハウス(パイプ) 600 m <sup>2</sup>  〈ポイント〉 ① 集落での合意により、連担地形成に努め、農業機械の効率的利用を図るとともに、作業能率を高める。 ② 水稻は、湛水土壤中直播とし、水稻の育苗、田植の作業時間を大幅に削減する。 ③ 水稻の乾燥調製作業は、共同乾燥施設を利用する。
水稻＋にら ＋西洋なし 〈専業的従事者 1人〉	〈作付面積〉 水 稻 = 2.0 ha に ら = 0.1 ha 西洋なし = 0.4 ha  〈経営面積〉 2.5 ha (自作地 2.5 ha)	〈主な資本装備〉  育苗用関連機械 一式 田植機 1台 トラクター(25ps) 1台 コンバイン(自脱型2条) 1台 ハウス(パイプ) 200 m <sup>2</sup>  〈ポイント〉 ① 夏期ににら、秋冬期に西洋なしを取り入れた複合経営とする。 ② にらは、密植栽培とし、多収を図る。 ③ 西洋なしの貯蔵は、共同施設を利用する。 ④ 有機物の施用を心がけ、地力増進に努める。

## 〔個別経営体〕

営農類型	経営規模	生産方式
水稻＋にら 〈専業的従事者 2人〉	〈作付面積〉 水稻 = 8.0 ha にら = 0.15 ha 〈経営面積〉 8.15 ha (自作地4.15ha) (小作地4.0 ha)	〈主な資本装備〉 育苗用関連機械 一式 田植機 1台 トラクター(32ps) 1台 コンバイン(自脱型4条) 1台 ハウス(パイプ) 600 m <sup>2</sup>  〈ポイント〉 ① 水稻は直播きなど導入し、省力栽培とする。 ② 夏期には、にらを取り入れた複合経営とする。 ③ にらは、密植栽培とし、高収益栽培に取り組み、毎年新植による育成圃場を準備する。
水稻＋酪農 〈専業的従事者 2人〉	〈作付面積等〉 水稻 = 7.5 ha 酪農(経産牛) = 10 頭 飼料作物 = 2.5 ha  〈経営面積〉 10.0ha (自作地 8.0 ha) (小作地 2.0 ha)	〈主な資本装備〉 育苗用関連機械 一式 田植機 1台 トラクター(32ps) 1台 コンバイン(自脱型4条) 1台 ハウス(パイプ) 800 m <sup>2</sup> 畜舎 1棟  〈ポイント〉 ① 水稻の乾燥調製作業は、共同乾燥施設を利用する。 ② 水稻は、早生種を中心に栽培する。 ③ 酪農は、スーパーカウを含め、高収益を目指す。 ④ 飼料は、自給を目標とする。

## 〔個別経営体〕

営農類型	経営規模	生産方式
水稻+にら+ きゅうり+西洋なし 〈専業的従事者 2人〉	〈作付面積〉 水 稲 = 7.0 ha に ら = 0.1 ha きゅうり = 0.1 ha 西洋なし = 0.1 ha  〈経営面積〉 7.3 ha (自作地 3.3ha) (小作地 4.0ha)	〈主な資本装備〉 育苗用関連機械 一式 田植機 1台 トラクター(32ps) 1台 コンバイン(自脱型4条) 1台 ハウス(パイプ) 700 m <sup>2</sup>  〈ポイント〉 ① 水稻の乾燥調製作業は、共同利用施設を利用する。 ② 夏期に、にら、きゅうり、西洋なしを取り入れた複合経営とする。 ③ 夏期に作業が集中するので、労働配分を考慮した作型を導入する。 ④ 西洋なしの貯蔵には共同施設を利用する。
水稻+西洋なし 〈専業的従事者 2人〉	〈作付面積〉 水 稲 = 5.5 ha 西洋なし = 1.0 ha  〈経営面積〉 6.5 ha (自作地 3.5 ha) (小作地 3.0 ha)	〈主な資本装備〉 育苗用関連機械 一式 田植機 1台 トラクター(30ps) 1台 コンバイン(自脱型3条) 1台 ハウス(パイプ) 500 m <sup>2</sup>  〈ポイント〉 ① 西洋なしの規模拡大経営とする。 ② 西洋なしの貯蔵は、共同乾燥施設を利用する。 ③ 水稻の乾燥調製作業は、共同施設を利用する。

## 〔個別経営体〕

営農類型	経営規模	生産方式
水稻＋西洋なし ＋酪農 〈專業的従事者 2人〉	〈作付面積等〉 水 稻 = 5.0ha 西洋なし = 0.2ha 酪農（経産牛） = 20 頭 飼料作物 = 3.3ha  〈経営面積〉 8.5 ha (自作地 3.5 ha) (小作地 5.0 ha)	〈主な資本装備〉 育苗用関連機械 一式 田植機 1台 トラクター(30ps) 1台 コンバイン（自脱型3条） 1台 ハウス（パイプ） 500 m <sup>2</sup> 畜舎 1棟  〈ポイント〉 ① 集落での合意により、連担地形成に努め、農業機械の効率的利用を図るとともに、作業能率を高める。 ② 水稻の乾燥調製作業は、共同乾燥施設を利用する。 ③ 西洋なしの貯蔵は、共同乾燥施設を利用する。 ④ 飼料畑は、借入農地を有効に活用し、自給率を高める。 ⑤ 堆肥と西洋なし、水稻を有機的に結合し、地力の維持向上を図る。
水稻＋にら 〈專業的従事者 1人〉	〈作付面積〉 水 稻 = 4.0 ha に ら = 0.1 ha 〈経営面積〉 4.1 ha (自作地 4.1 ha)	〈主な資本装備〉 育苗用関連機械 一式 田植機 1台 トラクター(30ps) 1台 コンバイン（自脱型3条） 1台 ハウス（パイプ） 400 m <sup>2</sup> 〈ポイント〉 ① 夏期ににらを取り入れた複合経営とする。 ② にらは超密植栽培による、少面積多収栽培とする。また、有望新品種への取組みを常に留意する。 ③ 堆肥等、有機物の施用を充分行い、地力増進に努める。

〔注〕 1 個別経営体に係る各営農類型毎の経営規模及び生産方式の指標については、その前提となる労働力構成は、專業的農業従事者2人として示している。

2 組織経営体とは、複数の個人又は世帯が、共同で農業を営むか、又はこれと併せて農作業を行う経営体であって、その專業的農業従事者が他産業並の労働時間で地域の他産業従事者と遜色ない生涯所得を確保できる経営を行い得るもの（例えば、農事組合法人、有限会社の他、農業生産組織のうち経営の一体性及び独立性を有するもの）である。